

学校教育目標	○楽しく学び、のびのびと表現しよう。(知) ○みんなも自分も大切にし、社会に貢献しよう。(徳) ○元気な心と健康な体を作ろう。(体) ○上菅田の「まち」を知り、地域とともに活動しよう。(公) ○すてきな日本を学び、世界で活躍できる人になろう。(開)				
	○子ども一人ひとりを大切にしながら、上菅田の「まち」とともに歩む学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもつとともに、他者を尊重しながら楽しく学校生活が送れるようにします。 ・心も体も元気であるための生活習慣が形成できるようにします。 ・上菅田の「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域の人と活動する心を育てます。 ・日本の良さと特色を学び、世界の平和を考える子どもに育てます。				
学校概要	創立 57 周年 校長 縣 利一 副校長 朝川 健太郎 2 学期制 一般学級: 24 個別支援学級: 4				
	児童生徒数: 831 人 主な関係校: 上菅田中学校・新井中学校・笹山小学校・新井小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
持続可能な社会の創造に貢献する力	上菅田中学校 新井中学校 笹山小学校 新井小学校 上菅田小学校	自ら学ぶ子ども、仲間や地域とともに学ぶ子ども 「自ら学ぶ子ども」「ともに学ぶ子ども」の育成をめざし、必要な資質・能力について9年間を見通した形で共通理解を図る。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切にしながら、上菅田の「まち」とともに歩む学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもつとともに、他者を尊重しながら楽しく学校生活が送れるようにします。 ・心も体も元気であるための生活習慣が形成できるようにします。 ・上菅田の「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域の人と活動する心を育てます。 ・日本の良さと特色を学び、世界の平和を考える子どもに育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
豊かな心 担当 道徳部	①「上菅田小学校スタンダード」に則って全職員が同じ価値観・同じ姿勢で生活指導を行っていく。②地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚と奉仕する心と活動を促していく。③人権教育と連動して人思いやる心を育てていく。
生きてはたらく知 担当 研究部	①子どものめあてを大切にしたい授業展開を図るとともに、グループ学習を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を目指す。②重点研の研究テーマを「主体的・対話的・深い学びを実現する手立てのあり方」と設定し、生活科、『横浜の時間』を中心に、体験的な活動を取り入れて自己解決力の定着を目指す。
特別支援教育 担当 特別支援部	①インクルーシブという発想を大切にしながら、個別のニーズを大切にしたい教育を行い、合理的配慮について研修していく。②個別支援学級の児童理解を職員研修で行い、全職員で指導に関わるようにしていく。
児童生徒指導 担当 児童指導部	①児童支援専任を核とした指導部による児童の実態の分析を行いながら、個別の対応や保護者への面談を行い学校と保護者が同じ価値観で指導をするようにしていく。②人権教育と連動していじめの早期発見に努める。③職員会議などで児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。
健やかな体 担当 体育部	①各家庭と協力して基本的な生活習慣の定着をめざす。②一校一実践運動では子どもたちの願いを大切に運動に取り組み、年間を通して体力の向上に励む。③栄養教諭と連携しながら全学級で食育に関する授業を行う。
地域連携・学校運営協議会 担当 教務部	①学校運営協議会を通して、上菅田小学校の教育目標、教育活動を保護者・地域の人々に周知し信頼の輪を広げていく。②地域防災訓練では学校の役割を果たしていく。③地域学校連携本部の協力を得て、地域に開かれた学校経営を行う。
自分づくり教育(キャリア教育) 担当 生活・総合部	①「横浜の時間」を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で一人一人の自己有用感を高める。②学年に応じて地域住民や企業が関わる学習活動を年間計画に位置付け、学ぶことや働くことの意義を考えられる場を設定する。
a15 担当	a23
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①児童の心の動きをとらえるため、カウンセリングスキルに関する研修を行う。②「特別の教科道徳」において、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を用意する。③教師自身や子どもの人権感覚を高め、地域・保護者と連携し、いじめの早期発見、早期対応に努める。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 総務部	①メンターチームを5年次以下の教職員を中心に組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②グループウェアや情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、事務の簡便化、効率化を図る。③教職員の健康が子供にとって価値ある教育活動の基本であるとし「持続可能な働き方」をキーワードに、教育活動に必要な研究・研修・修養等を行い、効果的な年休や職免の取得を行う。